

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成23年4月14日(2011.4.14)

【公表番号】特表2010-525275(P2010-525275A)

【公表日】平成22年7月22日(2010.7.22)

【年通号数】公開・登録公報2010-029

【出願番号】特願2010-504603(P2010-504603)

【国際特許分類】

F 1 6 D 25/0638 (2006.01)

【F I】

F 1 6 D 25/063 L

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月22日(2011.2.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

切換要素(3)のピストン(1)の近傍に設けられた皿ばね装置において、
閉じたリングとして形成された皿ばね(2)の外径側部(7)が、切換要素(3)のピストン(1)に当接しており、
皿ばね(2)の指部が、ハウジング(4)内の冠部(Kronen)を通して突出すると共に、切換要素(3)のハウジング(4)内に保持された金属プシュ(5)と当接しており、金属プシュ(5)は、パヨネット(差し込み)継手またはパヨネット(差し込み)金具(6)によってハウジング(4)内に保持されており、
ハウジング(4)は、溝を有しており、
金属プシュ(5)は、パヨネット(差し込み)リングとして形成されて、複数の突出部(9)を有しており、
前記突出部は、ハウジング側に設けられた前記溝に挿入可能であり、回転することによってロック可能である、
ことを特徴とする装置。

【請求項 2】

ピストン指部(8)が、切換要素(3)の操作のために、皿ばね(2)の指部の間を貫通して延びている、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の切換要素のピストンの近傍に設けられた皿ばね装置。